

月刊東乳商

第493号

発行所
東京都牛乳商業組合
広報部 〒101-0035
東京都千代田区神田紺屋町29
神田ISビル
☎ (5295) 3721(代表)
FAX (5295) 3724

東京都牛乳商業組合 平成20年2月20日
●URL <http://www.tokyo-gyunyuya.com> E-mail tonyusho@forest.ocn.ne.jp
毎月20日発行・定価1部150円 1年1800円(郵便料共) (昭和47年2月22日第3種郵便物認可)

乳製品販売顧客管理コンピュータシステム

市乳くん

宅配/卸・ハンディ・本支店間・LAN・EOS・顧客管理

【資料請求はこちらから】 >>>> 0120-5959-92
株式会社 オシカワシステム <http://www.oskw.jp>

「2008年新春のつどい」を開催

東京都牛乳商業組合が主催 販売店は一致結束して適正価格の実現を!!

東乳商は一月二十五日、神田須田町「肉の万世」で、会費制による「理事・支部長新春のつどい」を開催した。当日は本組合の理事・支部長をはじめ大勢の組合員が出席し、マーク団团长や関係団团长、多数の来賓にご臨席いただき二〇〇八年のスタートを祝った。

関係者の挨拶では三〇年ぶりの牛乳価格改定に話題が集中し、価格改定の確実な実行で適正価格の実現を求める声が相次いだ。アトラクションでは歌手の石川恵子さんが「牛乳の歌」、「牛乳音頭」を披露し、会場から大きな拍手がわいた。

司会の川井副理事長が「我々販売店はこの難局をいかに乗り切るか、商売の糧をいかに成長させるか諸先輩の方々の話をしっかりと受け止めたい」と挨拶し式は始まった。



東乳商 渡邊佳三郎理事長

冒頭、主催者代表の挨拶にたった東乳商の渡邊佳三郎理事長は、目前に迫った三〇年ぶりの牛乳価格改定は大変だが避けて通れない。価格改定を行うには今東乳商が取組んでいる価格の整備、環境整備を第一にやらなければ、消費者に見透かされてしまい商売がやりにくくなる。価格改定の確実な実行のためには市場価

格の正常化を第一に進めなければならず、東乳商が取り組んでいる環境整備に協力をお願いしたい」と牛乳価格適正化運動の必要性を強調した。さらに、「販売の現場で一部の販売店が、うちは価格改定はまだ先ですよ」と言っていて意欲を荒らした

りすることのないよう適正価格の実現に向けて一致団結を訴えた。また、福島県西会津町で取組んでいる「百歳への挑戦プロジェクト」を紹介。この町では胃がん、高血圧で若くして亡くなる人が多く、生活習慣、食生活を変えようと牛乳を飲ませる運動を長年行った結果、それまで日本の平均以下だった町の平均寿命がぐんと上がり、今では全国レベルを大きく上回る状況になった。今年度で百歳を迎える老人が八名もおられるという明るい話題を提供し、「牛乳業界も明るい方向に価格改定が展開できるように東乳商も一生懸命取組んでいきたい」と決意をかたげた。

来賓挨拶 (要旨)

全国牛乳商業組合連合会

米田嘉治会長



渡邊理事長はじめ皆様には、全乳連に対して、全乳なご協力いただき、まずまずの経営ができましたことを感謝申し上げます。年初より、日本は一流国でな

いのある大臣の発言があったり、株式市場では外資の七〇%が日本から引き上げたとの情報もあり経済情勢は厳しいものがある。我々業界も危機感を持って年頭を迎えたが、なんといっても乳価改定が一番の問題だ。諸物価高騰にともない乳価引き上げ、商品価格改定の要望がメーカーから出され、三月、四月は混乱すると思うが色々な意見を拝聴して対処していきたい。特に若い人の意見も聞いていきたい。東京都牛乳普及協会

小笠原伸二会長



普及協会 消費拡大に取組んでいるが、残念ながら牛乳の消費も低迷状態が続いている。日本酪農乳業協会の「3-A-Day」や中酪の「牛乳に相談だ」のキャッチフレーズも消費者の間で少しづつ

ら牛乳の消費も低迷状態が続いている。日本酪農乳業協会の「3-A-Day」や中酪の「牛乳に相談だ」のキャッチフレーズも消費者の間で少しづつ

「那須の赤い太陽」現地視察

東乳商執行部では「那須の赤い太陽」ブランドの卵生産メーカー(有)那須エッグの生産現場を視察した。

昨秋以降、「那須の赤い太陽」ブランドの卵を取扱う販売店が増えており、お客様からも好評をいただいている。東乳商ではこれまで研修会等を通じてこの卵の生産現場を確認してはいたが、現場の確認はしていなかったこともあり、十二月十五日に現地視察を実施した。

「あの赤みがかった黄身の色はどうやってつけているのか知りたい」との声が販売店やお客様から上がっていた。我々が視察した農場は栃木県

話題になってきているようだ。消費者に浸透するには息長く続けていくことが必要だ。これからの問題で最も大きいのが乳価改定の問題だ。価格改定については消費者の皆さんにきちっと説明して納得していただくことが一番重要だ。消費者の抵抗があると思われるが、しっかり取組んで乗り切らなければ、即、われわれの店の経営に影響する問題であり、皆様方も価格改定に全力を挙げるよう地域の販売店の皆様にご指導していただきたい。

依田末男会長



我々乳業界では三〇年ぶりの乳価改訂が行われる。酪農家は飼料の値上がり、諸物価高騰により全国で一〇〇〇件の酪農家が廃業したという現実

酪農家は飼料の値上がり、諸物価高騰により全国で一〇〇〇件の酪農家が廃業したという現実

の東北自動車道矢板インターチェンジからほど近いところで、周囲への環境上の配慮から山林を切り開いたところに大規模な鶏舎が建っていた。現在二十四万羽が飼われている。農場は三箇所に分散しており、一つは十六万羽、もう一つは九万羽が収容されている。鶏舎は鳥インフルエンザ予防のため外部と完全に遮断されており、窓は一つもなく、水質管理や温度管理においても徹底した管理の下で飼育されていた。赤みの成分はパブリカを飼料に混ぜて給餌することによるものだと説明を受けた。また竹酸も餌に混ぜられているとのこと



であったが、細かなことは企業秘密ということで教えてもらえなかった。農場はあらゆる面で管理が徹底しており、ここで生産された卵は安心してお客様に食べていただける卵だと印象を受けた。

<総代会開催予告> 東乳商第48回総代会

東乳商 第48回通常総代会を下記により開催します。総代、理事、支部長の方々は予定に入れてください。招集ご案内状は四月にお送りします。

日 時：5月24日(土曜日) 午後5時
場 所：麹町 弘済会館

の中で、三%の値上げは致し方ないとしても、メーカーの全商品値上げは非常に厳しいものがある。東乳商では価格の適正化に取り組んでいるが、100%満足する結果には至っていない。メーカーの値上げと大型店の乱売のはざ

まで販売店にとって非常に厳しい状況だ。メーカーには四月から先ず大型店に必ず値上げしてもらいたい。すべて自分たちの経営安定化のための値上げであるから一致結束して値上げを実現していただきたい。



川幡康成会長 (東京明乳事業協同組合理事長)

この機会でない値上げはむしろかきいというところもある。このチャンスを見逃せば次はない。この状況の中でお客様に本当にご理解いただけるように日頃のサービス、付加価値をきっちりお届けすることが大事だ。価格改定させてもらって経営をしっかりとやって、お客様に喜ばれることを念頭に置いてやれば前に進めるのではないかと。値上げして音声を上げないよう、また値上げ貧乏にならないようにしていただきたい。そのためにはお客様に信頼されることが何より大事だ。

お詫びと訂正

先月号(491、492合併号)の年賀広告中、東京メイトー牛乳協会 副会長のお名前に誤記がありました。

(誤) 橋本 治 (正) 瓜本 治
関係各位にご迷惑をおかけしましたことをお詫びし訂正します。

改善協版

平成二十年

新春メーカー合同幹部会実施

平成二十年の新春メーカー合同幹部会が去る一月二十一日十五時三十分から御茶ノ水ホテル聚楽において行なわれた。出席は依田会長以下川幡・河野・渡辺三副会長及び藤橋・関根・相田・牛尾田各マーク長含む七理事並びに三相談役、二監事の役員他メーカー七名、事務局長四名、計二十七名の出席で行なわれた。

まず、依田会長の挨拶に始まって小笠原都普協会長、渡辺東乳商理事長の挨拶があつて議題に入り、後述の議題についての説明が事務局長から行なわれた。

小笠原都普協会長の挨拶
乳価改定については、懸念されるものがある。皆が一致した結論になるよう足並みを揃えてマーク連組織の中で意見交換していきたい。

渡辺東乳商理事長の挨拶
乳価改定は環境整備が出来ていないと駄目。百六十円以下が六十%もある状況である。

依田会長の挨拶要旨
平成十九年度の収支見込については三十六万円の赤字になる見込みである。収入が前年度より会員販売店五十一店の減少で、三十万円減額及び全改協からの組織運営資金が六万円減額で合わせて三十六万円の減収であった。一方経費については十三万円減額したものの結局昨年度より二十三万円悪化することになった。因みに昨年度は十三万円の赤字であった。

今年度は平成二十年で節目の年である。販売店の減少が続いているが、何としても現状を堅持したいものである。諸物価の高騰からの三十年ぶりの乳価改定を三社揃って受け入れたが、落本対策をキチンとして四月から一致結束して、踏み切る事が生き残る道であり、全メーカーが結束して体制作りに協力願いたい。

実施事業報告については主として優良事例についての報告がなされた。十九年度の優良事例表彰については関東ブロック審査に都代表として明治藤和宅配センター佐藤秀和氏が進まれブロック優良賞として表彰された。



その後、メーカー新任担当者の紹介、川幡副会長の閉会の挨拶で会を終了した。つづいて新春懇親会に移り、相田小岩井会長の司会、河野副会長の挨拶、藤橋メイトー会長の乾杯で始まり牛尾田グリコ理事長の中締めで和やかなうちに会を了した。

子どものメタボリックシンドロームの現状と対策



中高年の約半数が予備軍といわれているメタボリックシンドローム。その要因となる肥満は、糖尿病、高血圧、高脂血症などの生活習慣病につながり、小児にも増えています。少しずつ積み重なって進行する生活習慣病には、小児期や若年期からの肥満予防が必要となってきます。

《メタボリックシンドロームの予防は若年期から》
メタボリックシンドロームは、肥満による腹部内臓脂肪の増加と、脂質異常、高血圧、糖尿病の症状が複合的にあらわれている状態です。動脈硬化のリスクは高く、心筋梗塞の46%がメタボリックシンドロームによるとの報告もあります。(Zeller Arch Intern Med 2005)。

それぞれの症状は軽症の複合体であることが多いので、薬の治療ではなく、生活習慣の修正が必要となってきます。動脈硬化は若いうちから少しずつ進行して発症にいたりします。20代でも血管病変が認められるケースもあり、若いうちから予防に取り組むことが重要です。

《年々増えている小児肥満》
肥満傾向児は、1970年代には約2%程度で、比較的都会に集中しているとみられています。近年では増加傾向にあり、10%前後の数値を推移。地域差もなく、全国的な傾向としてみられます。

人口栄養などによる急激な成長促進の結果として、肥満になる可能性が考えられます。胎内環境を整えて低出生体重を防ぐとともに、その後の成長過程において注意深く見守る必要があります。

《小児期は肥満のスタートライン》
子どもの体脂肪率は、乳児期に高い数値を示していますが、小児期に向けて数値が下がり、思春期に向けて再び上昇します。体脂肪率が最も低い5〜6歳の「脂肪蓄積の反跳」の時期が肥満の期限のひとつであるといえるでしょう。

この時期が、3/4歳の早期になるほど肥満になりやすいのは、という仮説が考えられます。つまり、生活習慣の確立がはじまる幼児期の過ごし方が重要となってくるといえるでしょう。

《小児期の肥満予防と牛乳の摂取》
生活習慣病の予防には、運動と食事が重要なポイントです。すでに肥満の場合、急に運動をしようとしてもカラダが動かない、ということがあるので、まずは運動できるカラダづくりが必要です。適度な運動とともに、必要な筋力や骨量を身につけるために、牛乳から得られる栄養摂取は重要といえるでしょう。

小児期に必要なたんぱく質やカルシウムの摂取にも、牛乳が役に立ちます。また、小さい時から栄養バランスの考慮された食事を取る習慣も重要です。その成長過程で牛乳・乳製品を定期的にとりい

【日本人におけるメタボリックシンドローム診断基準】

<p>成人の場合 成人では腹部肥満に加えて、脂質異常、血圧、空腹時血糖のいずれか2項目以上が基準値以上の場合メタボリックシンドロームと診断されます。</p> <p>『腹部肥満』 腹囲 男性:85cm以上 女性:90cm以上</p> <p>『脂質異常』 中性脂肪値150mg/dl以上・HDLコレステロール値40mg/dl未満のいずれか、または両方</p> <p>『血圧』 収縮期血圧130mmHg以上・拡張期血圧85mmHg以上のいずれか、または両方</p> <p>『空腹時血糖』 110mg/dl以上</p>	<p>小児の場合 小児(6~15歳)の場合は腹囲80cm以上に加えて、脂質異常、血圧、空腹時血糖のいずれか2項目以上が基準値以上の場合メタボリックシンドロームと診断されます。</p> <p>『腹部肥満』 腹囲 80cm以上</p> <p>『脂質異常』 中性脂肪値120mg/dl以上・HDLコレステロール値40mg/dl未満のいずれか、または両方</p> <p>『血圧』 収縮期血圧125mmHg以上・拡張期血圧70mmHg以上のいずれか、または両方</p> <p>『空腹時血糖』 100mg/dl以上</p> <p>(注) 小児の場合、腹囲÷身長が0.5を上回る時も腹部肥満と考えられる。(Jミルク資料より)</p>
--	--

れることは、その習慣づくりに効果があるといえるでしょう。また、胎内発育段階での栄養不良は、のちのちメタボリックシンドロームへとつながる可能性があるため、母親も意識してバランスの取れた食事をするのが大切です。

《生活習慣の改善は問題点の修正から》
食生活の改善で一番基本的なことは、規則性です。規則的な食事をしていないのに、栄養バランスを整えることは困難だからです。また、適度な食事といっても、厳密に言えば年齢や運動量などの違いにより、一人ひとりに必要な摂取エネルギーは異なります。成長期の子どもに肥満予防を気にして家庭で栄養制限をすることは、必要な栄養素の不足になりかねません。まずは規則正しい食生活を心がけながら、問題点の修正をしていくことが有効です。朝食はきちんと取っているか、間食や夜食が多くないかなど各自の生活習慣を見直して、改善していくとよいでしょう。